

グリーンアドベンチャー

1 コースと所要時間

・所内コース 2.5km 約50分

※所外には出ないコースです。また、所要時間はコースの踏破にかかる時間のみです。

2 服装

○長袖シャツ ○長ズボン ○履き慣れた靴 ○帽子

3 準備物

- ・利用者 ○筆記用具 ○タオル
○マップ ○記録用紙 ○笛（必要に応じて）
- ・施設側

品名	数量	品名	数量
ゼッケン	70	ストップウォッチ	1
トランシーバー	7	机	2
バインダー	40	いす	6
植物図鑑	100		



4 実施の準備

※団体の引率者が説明・指導を行う活動です。

- (1) グループ編成 1グループ4～6名が適当である。
- (2) 指導者の役割分担

スタート ゴール係 (1～2名)	ア 本部を設営する。
	イ 活動開始前の必要な指示・連絡をする。
	ウ 各グループを順番に所定の時刻に正しくスタートさせる。
	エ スタート待ちの者を掌握する。
	オ グループ全員がそろっているか確認し、記録用紙を提出させる。
	カ ゴール時間を記録し、結果を整理する。
	キ 本部を撤収する。
立哨指導・ 巡回係 (3～5名)	ア 活動開始前に出発し、危険な場所を確認する。
	イ 所定の場所に立ちトランシーバー等で連絡を密に取り事故のないように注意する。
	ウ 参加者のルール違反等には、適切な指導をする。
	エ 全員通過後、コースに異状がないことを確認する。

5 活動の流れ

- (1) 指定された場所に集合する。
- (2) 事前指導を受ける。
- (3) グループごとにスタートする。
- (4) 指定された植物（樹木）の標準名を解答用紙に記入しながらコースを回る。
- (5) ゴールしたら他のグループがゴールするまで待機する。
- (6) 全グループがゴールしたら成績発表や講評を聞き、解散する。

6 指導上の留意点

(1) 事前指導

①ルール説明

- ・コースを回りながら指定された植物の標準名を解答用紙に記入し、標準時間にできるだけ近いタイムでゴールする。(タイムレースではないことを伝えておく)

②コース図について

- ・図の番号①、②…の順にコースを回る。番号の位置に指定された植物がある。(木製の札がかかっている)

③植物の特徴による区別

- ・葉の付き方、葉の切れこみ、葉の形、葉のふちの様子、樹形、花や実などに注目する。

④注意事項

- ・グループ全員が協力し、そろって行動する。
- ・コース外には出ないようにする。自然や公共物を大切にす。

- ・道に迷ったときは、正しいと思う地点まで引き返す。
- ・他のチームをだましたり、教え合ったりしないようフェアプレーで行う。
- ・5月から10月ごろに山道を歩くときは、マムシなどに特に注意する。
- ・不測の事態が起こったときのみ、笛で合図をする。

(2) スタート

- ①スタート前に健康観察をし、トイレを済ませておく。
- ②スタートは表・裏のグループが同時スタートで、2～3分間隔が望ましい。
- ③次にスタートするグループの人数を確認し、スタート時間を記入させる。

(3) 立哨指導・巡回

- ①立哨指導係は通過グループを記録し、全員が通過したことを確認する。
- ②巡回係はコースを大きく外れたり、ルール違反をしたりしている班を指導する。

(4) ゴール

- ①グループ全員がそろっているか確認し、記録用紙を提出させる。
- ②ゴール時間を記録し、課題の正誤を調べて、結果を整理する。

(5) 順位の決定

順位の決定は、次の方法によって行う。

- ①まず、課題の正答数によって課題得点を算出する。
- ②次に、所要時間と標準時間を照らし合わせて時間得点を算出する。例えば65分を標準時間とする場合、5分ずつ早い(遅い)場合は次のようになる。

61～70分	100点	46～50分、81～85分	85点
56～60分、71～75分	95点	41～45分、86～90分	80点
51～55分、76～80分	90点		

- ③課題得点と時間得点の合計で順位を決定する。

(6) その他の留意事項

- ①時間を大幅に過ぎてもゴールしないグループには、状況に応じて対処する。
- ②トランシーバーは立哨ポイントや気象状況等によって通じにくい場合があるので、ポイントに到着したら必ずテスト通信を行う。場合によっては子機同士で中継して本部に情報を伝えたり、携帯電話を活用したりする。
- ③活動にゆとりをもった標準時間を設定し、活動の途中でグループ内での対話や自然とのふれあいができるようにする。